第３２回
ヨーロッパをよく知ろう！セミナー

会津ＥＵ協会は、ＥＵ諸国との経済・文化交流などを図る目的で 1988 年（昭和 63 年）に創立し、これまで、イギリスを含む２７カ国からゲストをお招きし、ヨーロッパ文化や自国のライフスタイルについてお話しを聞いて参りました。

今年度は、日本人が初めて交流した西洋の国「ポルトガル共和国」より、駐日ポルトガル大使館次席ティアゴ・デ・ブリット・ペネード氏をお招きし、ご講演いただきます。講演終了後には、ポルトガルのお菓子をお召し上がりいただきながら、講師とのお話を楽しんでいただけるティーパーティーも企画しております。

ヨーロッパ文化に触れる良い機会となっておりますので、皆様ぜひご参加ください。

◆日　時：**令和７年３月６日（木）**
午後１時３０分～　セミナー
午後２時３０分～　ティーパーティー

◆場　所：ホテルニューパレス　（会津若松市中町 2-78　電話 28-2804）

◆講　演：テーマ**「ポルトガルから世界へ、世界からポルトガルへ**
ポルトガルの『大航海時代』が世界の食文化に与えた影響」について
講　師　駐日ポルトガル大使館　次席
ティアゴ・デ・ブリット・ペネード　氏

◆定　員：４０名（定員になりしだい締切ります）

◆参加料：１，５００円

◆問い合わせ・申し込み：会津 EU 協会事務局（商工会議所内）
電話：0242-27-1212　　FAX：0242-27-1207

【ポルトガル共和国】～日本が初めて出会った西洋の国～
ポルトガル共和国はイベリア半島の西部に位置しています。首都はリスボン。本土の他に大西洋に面したマデイラ諸島とアゾレス諸島の２つの自治区があります。
国土が南北に長いため、地域差はあるものの、夏は涼しく冬も温暖なのが特徴です。温暖な地中海性気候を活かしオリーブ、小麦、ワイン、コルクなどの生産が盛んに行われおり、日本が輸入しているコルクの３分の２はポルトガル産です。
1543 年にポルトガル人が種子島に上陸した時から日本との交流は始まり、ポルトガル商人たちからもたらされた西洋の文化や品物は、当時戦国時代であった日本に大きな影響を与えました。2023 年には交流 480 周年を迎え、ヨーロッパの国の中で最も長い交流の歴史があります。

◆主催：会津 EU 協会

◆共催：会津若松商工会議所・会津若松商工会議所女性会・会津若松商工会議所青年部

◆後援：駐日欧州連合代表部・会津若松国際交流協会・国際ソロプチミスト会津・アネッサクラブ

第 32 回　ヨーロッパをよく知ろう！セミナー　申込書

※記載いただいた個人情報は、本セミナーの実施運営のみに利用いたします

貴社・団体名	※個人でもお申込みいただけます	
連絡先	住所　〒	
	電話　　　　－　　　－	FAX　　　　－　　　－
参加者名	①	②
	③	④